

2021年度 第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2022/3/30】

この試合のプレー集計

A決勝

京都踏水会 8

1	—	0
1	—	2
0	—	3
3	—	0
3	PSO	4

9 三重WPスターズ

審判:

榎橋 邦広
南 隆尚

京都踏水会	17	SH数	13	三重WPスターズ
	2	速攻数	4	
	12	ST・SB	8	
	8	SH・P誘発アシスト	5	
	50%	GK阻止率	55%	
	5	EX反則数	4	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
京都踏水会	78	43	19	24	34	44	3	6	18	43.8%

(7試合計)

この試合までのチーム集計	Shoot	得点	P・EX	誘発PE	Sアシスト	Steal	速攻	コントラ	失点	GK阻止率
三重WPスターズ	76	40	13	24	33	37	10	9	10	60.0%

(7試合計)

【試合の流れ】

両チームともに安定した戦いで決勝まで駒を進めてきたが、京都③城之下がオールマイティな活躍が目立つが、三重の④岩本・GK①奥村も引けを取らない活躍を見せている。こうした中心選手がより機能したチームの方に、春JO優勝の道が開ける展開となる。

1P

三重の速攻シュートミスを突いて京都踏水会がペナルティを得て先制。三重もペナルティシュートのチャンスもあったが、京都GK①森が防いで、京都踏水会1-0三重WPで第1ピリオドを終えた。

2P

三重は退水やペナルティのチャンスを活かせず、じりじりと我慢の水球となったが、④岩本のパスカットからチャンスを作ってペナルティで1-1の同点に追いついた。京都踏水会側のシュートを三重のGK①奥村が的確に防ぎ、互角の展開となった。三重は再び④岩本のパスカットから速攻を②金澤が決めてリードするが、京都は⑧前川がセンターでシュートを決めて同点で前半を折り返した(京都踏水会2-2三重WP)。

3P

京都踏水会のシュートミスについて三重が突き放しにかかり、④岩本の先を読んだ逆サイドへのパスがセンターの③森のシュートにつながり、④岩本のパスカットからの攻撃で一気に3連続得点で三重がゲームを支配する形になった(京都踏水会2-5三重WP)。

4P

最終ピリオドに入ると、三重の攻撃がやや緩慢になったところを京都踏水会側が突く形になり、③城之下がドライブSHを決めて勢いを増し、退水、センターシュートで3連続得点して京都踏水会が5-5の同点に追いついた。

PSOとなった決勝戦だが、GKの力で三重がやや勝っていることもあり、結果的に、京都踏水会8-9三重WPと三重が優勝を飾った。